

達第百八十六號

海軍無線電報取扱規約中左ノ通改正ス

大正十年十月三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

附表第一號信省船舶局路符號ノ標遞信省ノ部中大成丸ノ次ニ「JOG小笠原丸」ヲ加ヘ
同欄日本郵船ノ部中「JNL日光丸」ヲ創除ス

(附例取巻二、五四二ノ一〇頁參照)

二百二十一

海軍



0323

達第百八十七號

海軍無線電報取扱規約中左ノ通改正ス

大正十年十月四日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

別表第一 遞信省船舶局名略符號ノ欄大阪商船ノ部中「M X りさえこ丸」ヲ削ル

(密例則卷二、五四二、一〇四號)

二百二十二

海軍

0324

達第百八十八號

明治三十六年達第六十五號海軍造船材料試驗規格船體製造用鋼材鐵材ノ部別表中左ノ通

改正ス

大正十年十月六日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

XIノ欄「鋼製支柱管(引抜き或ハ鍛接)」ヲ「支柱用、露水管用及通風用鋼管」ニ改メ且
 ツ同欄總則以下ヲ別紙ノ通改正ス
 XVノ欄全部ヲ削除ス從テ以下
 XVI.
 XVII.
 XVIII.
 ラ
 XV.
 XVI.
 XVII.
 ニ順次繰上ク

(附例題卷二、六四八頁參照)

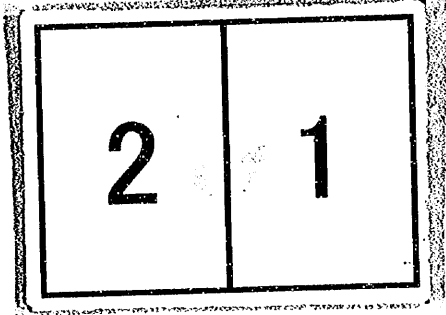
(別紙一葉添)

二百二十三

海軍

0325

分割撮影ターゲット

<p>分割した部分の撮影順序</p>	
<p>分割撮影した理由</p>	<p>A 3版以上のため</p>
<p>文書等名</p>	<p>文柱用、諸水管用及通風用鋼管 に改める区分</p>
<p>上記のとおり分割撮影したことを証明する。</p>	

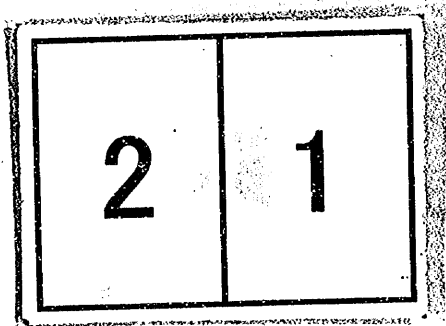
(12)												則						總							
												(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)			
拾八噸以上 貳拾四噸以下												五拾個宛及五拾個未滿ノ組ニ分テ各組ヨリ一個ヲ選ミ内徑及厚ヲ測リ前項ノ規定ニ依リ其組ノ合格不合格ヲ定ムルコトス	厚ニ於テハ 超過 百分ノ拾以内 不足 百分ノ拾以内 内徑ニ於テハ 超過 百分ノ貳以内 不足 百分ノ貳以内 重量ニ於テハ 超過 百分ノ五以内 不足 百分ノ五以内	内外面共平滑直ニシテ缺損氣孔其他一切有害ナル疵無キモノタルヘシ	—	頭書ニ從フ	管柱ヨリ切り取りタル試験材ヲ組ニテ平ラニ爲シタル後仕上クルモノトス	頭書ニ從フ	五拾個宛及五拾個未滿ノ場數ニツキ各試験室同宛ヲ行フ	總テ緊張力及延伸度ノ試験ヲ要ス	頭書ニ從フ	頭書ニ從フ	支柱用、諸水管用及通風用鋼管	XI	
28%																									

0327 0326

(15)	(14)	(13)					(12)					(11)	(10)	(9)	
	<p>各管等ニ別ニ定ムル所ノ水壓試験ヲ行フ</p> <p>管端ヲ灼熱シ攪孔器ヲ以テ管徑ヲ約其試給分ノ容積開シ破損ヲ生セサルヲ要ス</p> <p>右ノ外尚ホ必須ト認ムル場合ニ於テハ左記試験ヲ行フコトアルヘシ</p> <p>管口填砂ノ上加熱シ之レヲ直角ニ曲ク更ニ之レヲ元ニ積スルモ有害ナル疵ヲ生セサルヲ要ス但シ屈曲内部ノ半徑ハ原内徑ノ貳倍半以下トス</p>						28%								<p>他一切有害ナル疵無キモノタルヘシ</p> <p>厚ニ於テハ</p> <p>超過 百分ノ拾以内</p> <p>不足 百分ノ拾以内</p> <p>内 超過 百分ノ貳以内</p> <p>不足 百分ノ貳以内</p> <p>頂 超過 百分ノ五以内</p> <p>不足 百分ノ五以内</p> <p>五拾個宛及五拾個未満ノ組ニ分テ各組ヨリ一個ヲ選ミ内徑及厚ヲ測リ前項ノ規定ニ依リ其組ノ合格不合格ヲ定ムルモノトス</p> <p>重量ニ對シテハ附書ニ從フ</p> <p>第一圖 A 或ハ B</p> <p>貳時</p> <p>壹時</p> <p>原厚</p> <p>縦線</p> <p>拾八噸以上</p> <p>貳拾四噸以下</p>

0350 0358

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	支柱用、諸水管用及通風用鋼管 に改める区分
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

途第百八十九號

目下建造中ニ係ル砲臺勿來ヲ左ノ通改名ス

大正十年十月十一日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

安宅

二百二十四

海軍

0330

達第百九十號

軍備補充費ヲ以テ大正十年度ニ於テ建造ニ着手ノ一等驅逐艦七隻二等驅逐艦十隻及一等掃海艇六隻ニ左ノ通命名ス

大正十年十月十二日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

一等驅逐艦七隻

第一驅逐艦

第三驅逐艦

第五驅逐艦

第七驅逐艦

第九驅逐艦

第十一驅逐艦

第十三驅逐艦

二等驅逐艦十隻

第二驅逐艦

第四驅逐艦

第六驅逐艦

第八驅逐艦

第十驅逐艦

第十二驅逐艦

第十四驅逐艦

第十六驅逐艦

第十八驅逐艦

第二十驅逐艦

一等掃海艇六隻

第一掃海艇

二百二十五

海軍

0331

第二掃海艇
第三掃海艇
第四掃海艇
第五掃海艇
第六掃海艇

二百二十六
海軍

正 誤

本年達第百八十號別表中關東區無線電信所略符號ノ欄内船船局ノ部中日本郵船ヲ南滿州
汽船ニ改メ全欄中神戶丸ヲ削ル

大正十年十月十二日

海軍省 副官

0332

達第百九十一號

經營需品貸與品表中左ノ通改正ス

大正十年十月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

主計長 主管

候補生ニ貸與スヘキ洋食器數量表中

區別	類別	品名	數稱	備註
改正	甲	ソップ皿	個	候補生練習艦又ハ其他ノ軍艦ニ座乗ノ際貸與以下全シ但シ練習艦ニ乘組中兵員同様ノ撥食ヲ給セラルル時ハ適宜本表ノ品程ヲ減少スルコトヲ得
同	同	匙	個	
同	同	同	個	
同	同	肉皿	個	
同	同	果物皿	個	
同	同	フオートク大	個	
同	同	同	個	

二百二十七

海軍

同	同	同	個	一人一個宛
同	同	同	個	六人ニ付一個宛
同	同	紅茶コトヒ瓶大	個	十二人ニ付一個宛
同	同	砂糖壺大	個	十二人ニ付一個宛
同	同	砂糖挾	個	十二人ニ付一個宛
同	同	紅茶匙	個	一人一個宛
同	同	藥味入	個	六人ニ付一個宛

達第百九十二號

經營需品試驗規格中左ノ通改正ス

大正十年十月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

0333

濠用長主管管帆之部

消耗品規格中「帆縫糸」ヲ「帆縫糸甲」「帆縫糸乙」「帆縫糸丙」ニ改ム

二百二十八

海軍

達第百九十三號

特務艦風翔ヲ帝國軍艦ト定メラル

大正十年十月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

達第百九十四號

今回特務艦ヨリ帝國軍艦ト定メラントル軍艦ヲ風翔ト命名ス

大正十年十月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

達第百九十五號

艦艇類別等級別表中航空母艦ノ欄「翔鶴」ノ次ニ「風翔」ヲ加フ

大正十年十月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

二百二十九

海軍

0335

達第百九十六號

海軍通常物品會計規程第二表中左ノ通改正ス

大正十年十月十四日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

備考三號中左ノ但書ヲ加フ

但シ之ニ依リ難キ場合ニハ出納命令官部内判任官以上ニ之ヲ命スルニトシ得此場合ニ
ハ其理由官職氏名ヲ報告スヘシ

會計法規程第五六四頁參照

二〇三十一

海軍

0336

達第百九十七號

軍隊教育規則中左ノ通改正ス

大正十年十月二十五日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣

原

敬

第三十四條 「各科中少尉」ノ次ニ「各科大尉以上ノ職ニ配」ヲ加フ
 第三十五條 「五號中、中尉」ノ次ニ「大尉以上ノ職ニ配」ヲ加フ
 第三十六條 「四號中、機關中尉」ノ次ニ「機關大尉以上ノ職ニ配」ヲ加フ
 第四十四條 「各科大尉」ノ次ニ「各科大尉以上ノ職ニ配」ヲ加フ
 第五十九條ノ二 新ニ進級シタル三等兵ニハ兵種別ニ教育主任ヲ置キ（適宜補助官ヲ附ス）新兵教程ニ於テ修得シタル事項ヲ實地ニ活用スルノ道ニ習熟セシムルト共ニ勤務ノ要領ヲ會得セシムル爲特別教育ヲ施スモノトス
 特別教育實施標準ハ海軍教育本部長之ヲ定ム

二百三十一

海軍

第七十八條 「教育ヲ妨ケサル」ヲ「適當ノ」ニ改ム

別表第二（補修教育科目）ノ中左ノ通加除ス

- 一 一等水兵ノ航海術信號術見張法ノ欄ニ於テ「四 操舵裝置ノ概要、五 操舵法ノ概要、六 手旗信號」ヲ加フ
- 二 一等水兵ノ運用術ノ欄ニ於テ「四 操舵裝置ノ概要、十一 操舵法ノ概要」ヲ削リ番號「五、六、七、八、九、十、十二」ヲ「四、五、六、七、八、九、十二」線上ク
- 三 二三等主計兵ノ砲術ノ欄ニ於テ「一 無銃教練」ノ次行ニ「二 小銃射擊術、小銃取扱法」ヲ加ヘ更ニ次行ノ「二」ヲ「三」ニ改ム
- 四 機關兵乃至主計兵ニ於テ各砲術ノ次ニ左ノ通、信號術ノ欄ヲ追加ス

信號術	(二三等兵)	(一等兵)
手旗信號		
同上		

0337

五 備考欄ニ於テ第五號ノ次ニ左ノ通追加ス

六 機關兵ニ課スヘキ銃隊教練ハ小隊教練及徒手ニテ施行シ得ヘキ中隊教練中ノ
諸運動ヲ行フヲ例トス

(密例題卷二、八四三頁参照)

二百三十二

海軍

0338

達第九十八號

明治三十七年達第六號艦船造修試驗検査規則中左ノ通追加ス

大正十年十月二十七日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 原

敬

第四十條ノ二 潜水艦ニ次電池室ハ約二箇年ニ一回ニ次電池ノ一部又ハ全部ヲ陸揚ノ上
 全室全般ニ亘リ之カ検査ヲ施行シ所要ノ修理ヲ行フモノトス
 第四十條ノ三 海軍工廠長ハ前條ノ検査ヲ施行シタル時ハ其狀況ヲ海軍艦政本部長ニ通
 知スハシ

(附則即卷二、五九一頁参照)

二百三十三

海軍

0339

逕第百九十九號

艦管需品制式圖中左ノ通改正ス但シ別圖ハ要スル向ヘノミ配付セシム

大正十年十月二十八日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 原

敬

運用長主管船匠之部

吐水管大、中、小減器大、中、小ノ制式ヲ別圖ノ通改正ス

二百三十四

海

軍

0340

達第二百號

海兵團練習部規則中左ノ通改正ス

大正十年十月二十八日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 原

敬

第一條中「普通科機關術練習生」ノ下ニ「掌廚術練習生」ヲ加フ

第八條ノ二「掌廚術練習生」ハ海軍一、二、三等主計兵ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ノ中ヨリ之ヲ選拔ス

一 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

二 掌廚術特修兵ト爲スニ適當ナル性能學力ヲ有スト認ムル者

第十二條第一項中「普通科砲術練習生」又ハ普通科機關術練習生「ヲ」普通科砲術練習生、普通科機關術練習生又ハ掌廚術練習生「ニ改メ同項中「第八條」ノ下ニ「掌廚術練習生」ニ在リテハ第八條ノ二「ヲ加フ

二百三十五

海軍

第十五條中「普通科機關術練習生六箇月」ノ次號ニ「掌廚術練習生六箇月」ヲ加フ

(雜例册卷一、四二八ノ三頁参照)

0341

達第二百一號

海兵團練習部教育綱領中左ノ通改正ス

大正十年十月二十八日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 原

敬

第七條六號及第九條八號中「短艇操漕及櫓漕法」ノ次ニ「艦務概要」ヲ加フ

第九條二號第一項「看護法」ノ次ニ「及衛生法」ヲ加ヘ同第二項中「救急法及裝創法概要」ヲ

「救急法、裝創法及衛生法概要」ニ改ム

第十七條ノ二「掌廚術練習生」ノ教育ハ練習生ヲシテ廚業、會計、庶務ニ關スル基礎的智
識及技能ヲ修得セシメ海軍軍炊員トシテ其ノ任務ヲ遂行スルニ必要ナル素養ヲ與フル
ヲ目的トス之ニ課スヘキ科目左ノ如シ

一 廚業

海軍糧食ノ献立及調理法並實習

二百三十六

海軍

二 金錢、物品會計

主トシテ艦船部隊ニ於ケル日常ノ糧食、金錢、被服、需品ニ關スル事務ノ大要

三 庶務

海軍公文書類ノ取扱、實習

四 算術

簡易ナル珠算及筆算ノ實習

五 作文

簡易ナル用語及作文實習

六 英語初歩

補 科

無銃隊教練、拳銃教練、短艇操漕、體操、武技、體技

(諸例則卷二、九二一頁參照)

達第二百二號

海軍經理學校規則中左ノ通改正ス

大正十年十月二十八日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 原

敬



第三十四條中「三種」ヲ「二種」ニ改ム「三掌廚術練習生」ヲ削ル

第三十七條ヲ削ル

第三十八條第三項中「掌廚術練習生」ニ在リテハ第三十七條ノ規定「ヲ削ル

第四十條中「普通科經理術練習生及掌廚術練習生」ヲ「普通科經理術練習生」ニ改ム

第四十四條中「三掌廚術練習生」六箇月以内「ヲ削ル

第四十六條第二項中「履歴表」ヲ「考課調査表」ニ改ム

(別表第一)及(別表第二)中「掌廚術」ノ三字ヲ削ル

(附例即卷一、四九八頁参照)



二百三十七

海軍

0343

達第百三號

兵器經理規程別表第一號水管長主管ノ部航空機(原動機除ク)ノ下ニ整備機ヲ追加ス

大正十年十月二十九日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣

原

敬

(會計法規程案下六三四頁參照)

二百三十八

海

軍

0344